



みなもと小の児童に
身につけさせたい4つの力

- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

2学期修了、良いお年をお迎えください

長かった2学期が終わりました。コロナのための1学期の遅れを取り戻すために、8月20日にスタートし12月24日まで、86日間という今までにない長さの2学期でした。運動会、学習発表会、授業参観、校外学習など、なるべく中止にするのではなく、感染対策を取ったうえで、できる行事は最大限の努力をして実施してきました。学校に来ていただく際には、感染防止の検温、健康チェックカードの提出等、ご協力いただきましてありがとうございました。子どもたちは、たくさんの体験活動や日々の学習から多くのことを学び成長することができたと思います。明日から冬休みになりますが、健康に気を付けて良いお年をお迎えください。

6年生・県内修学旅行

6年生が、11月26日（木）27日（金）に一泊二日で修学旅行に行ってきました。今年度の当初は6月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で9月2・3・4日に変更しました。しかし、8月の中旬になって、神奈川県感染者が大きく増えたため、旅行地を県内富士五湖方面と東部地区方面（勝沼方面）とし、感染リスクをできる限り下げ、感染防止対策を徹底する中でやっと実施することができました。この間、6年生の子ども達はもちろん、保護者の皆様にも、ご心配をおかけし申し訳なく思っております。

今回実施した県内の修学旅行は、なかなか面白い、子ども達の学習として生きる修学旅行だったと思います。従来の修学旅行は、観光地巡りのような感じもあるのですが、今回の修学旅行はこの源地区・南アルプス市の地域学習と関連させ、修学旅行で見聞きしたことを基に子ども達の視点で、地域を見直し、自分たちの考えを発信していくというものでもあります。どんな発信をするのか、その発信を楽しみにしています。以下、修学旅行の一部をご紹介します。



西湖根場地区の土砂災害について学ぶ。根場地区は全滅。村を移動して再建を果たしました。



勝沼堰堤、勝沼も扇状地で源堰堤とも深い関りがあります。



シャトゥ・メルシャン資料館、昔のワイン作りについて学びました。



富士世界遺産センター、富士山と芸術の関りについて学びました。



甘草屋敷、昔この屋敷では、2階でかいこを飼っていた。源地区の昔と同じです。



富岳風穴から鳴沢氷穴まで、樹海の中（東海自然歩道）を歩きました。



大善寺、行基がこの寺を訪れ、ブドウを持った如来の夢を見てブドウ作りが始まりました。



忍野八海、班ごとに池を見て回りました。見学よりも班行動が楽しかったかな。



県立博物館、百々遺跡の説明を受けました。甲斐の黒駒は日本で一番優秀な馬でした。

さくらんぼ、ひまわり学級・大根の収穫、販売

12月9日、さくらんぼ学級とひまわり学級では、収穫した大根の販売をしました。当日はたくさんの保護者の皆さんに買いに来ていただき、子ども達も販売係や呼び込み係等に分かれ、生き生きと活動しました。大根は1校時に抜いた新鮮な大根を販売しました。大きな大根と小さな大根がありましたが、大きな大根は途中で売り切れてしまうほど、よく売れました。この収益金は、歳末助け合いに寄付をすることになっています。自分たちの活動が困っている人の助けになることを学ぶ大切な学習です。

さくらんぼ、ひまわり学級・フェイスシールド作り

12月11日、さくらんぼ・ひまわり学級に市立美術館の市川先生に来ていただき、カッコい



い歌舞伎調のフェイスシールド作りを教えてくださいまし



た。歌舞伎の顔の模様をなぞってカラーセロハンを張り付けたり、カラーペンで模様を描いたり、スズランテープのカラフルな髪の毛を付けたり思い思いのフェイスシールドを作りました。子どもたちは、市川先生の「いいんだよ」「大丈夫だよ」「すごいね」という言葉に勇気づけられ、思い思いの表現をしていました。



5年生・しめ飾り作り

12月10日、5年生がしめ飾り作りをしました。市文化財課の田中さんに来ていただき、藁をすくってきれいにし、次に、藁を濡らしてたたいて柔らかくしてから、藁を右左数本ずつを足で押さえ、右手と左手をこするようにしてよりをかけていきます。すると、縄をなうことができます。子どもたちは、要領が分かるとスイスイと縄をなうことができました。源小の5年生は上手だと褒められました。自分たちが育てた稲の藁を使って、縄をなうこと、それを結んでナンテンなどを飾り、お正月のしめ飾りを作ることができました。昔の人はお米をとったあとの藁も無駄にしないで、縄を作ったり、しめ飾りを作ったりしていたことが体験的に分かりました。



6年生・「がん」についての学習

12月9日、6年生が、サンスマイルの清水さんから、「がん」について教えていただきました。今、「がん」になる人は2人に1人とされています。新しい学習指導要領（令和2年より実施）には、保健の内容として取り上げられています。講師の清水さんの闘病体験から、検査・検診をしっかり受け、早期発見・早期治療が大切だということ、がんにならないために気を付けること、がん患者への接し方等を分かりやすく教えていただきました。



児童会役員選挙・投票・開票

令和3年度の児童会役員を決める、立合演説会・投票・開票が12月8日に行われました。立合演説会では、どの候補者も自分の考えやアピールポイントをはっきりと発表していました。また、応援演説では、責任者が立候補者の良いところをしっかりと発表していました。また、投票権を持っている3年生から6年生が真剣なまなざしで、来年度の児童会役員にふさわしい人はだれなのか考えながら一生懸命聴いていました。自分が先頭に立ってこの白根源小をより良くして行こうという気持ちでたくさんの児童が立候補してくれて、嬉しく思いました。



小中一貫あいさつ運動



11月24日の朝、児童の登校時間に合わせて、本校出身の御勸使中学校の3年生10名が、白根源小の玄関で「小中一貫あいさつ運動」を行いました。中学生が少し照れながら、後輩たちに「おはようございます。」と大きな声であいさつしてくれました。このあいさつ運動は、白根御勸使中学校区の3校（白根御勸使中、白根百田小、白根源小）が合同で開催するものです。この3校は何年か先には、今の八田小中・芦安小中と同じように、小中一貫校として新たにスタートすることになります。そこで、スムーズな接続を目的に様々な小中合同での事業を行っていきます。